

秋を彩る 赤れんがでグルメ&アート

10月24日と25日、赤れんがパーク一帯で「赤れんがフェスタ in 舞鶴 2015」が開催。全国のクラフトマンが集う恒例のアート&クラフトフェアや鉄道写真展、クラシックカーフェスティバルプレミエーティング、ミュージックステージなど多彩な催しが行われ、2日間で約38,000人の来場者が秋の赤れんがパークを楽しみました。

また、今年のごグルメコーナーでは、舞鶴、呉、横須賀、佐世保が持ち回りで実施している「旧軍港四市グルメ交流会」が同時開催。海軍ゆかりのカレーや肉じゃがなどが販売され長蛇の列ができました。



にぎわう旧軍港四市グルメ交流会



鉄道写真展の様子



プロによるミュージックステージの様子



アート&クラフトフェアで行われたワークショップ



活気あふれる「舞鶴かに。」(ズワイガニ)の初競り

ズワイガニ漁が解禁 カニのシーズンがやってきた

舞鶴の冬の味覚の王様である「舞鶴かに。」(ズワイガニ)漁が11月6日に解禁されました。

市内からは底引き網漁船5隻が出漁。同日の午後に府漁協舞鶴地方卸売市場で行われた初競りでは、仲買人らの威勢のよい掛け声が響き、「舞鶴かに。」が次々と競り落とされました。

この日の水揚げ(舞鶴市から出漁した漁船分)は雄が732kg、雌が1,924kg。漁期は雄が来年3月20日まで、雌が12月末まで続きます。

《「舞鶴に来てかに当てよう!!キャンペーン」を実施中》

舞鶴かに。PRキャンペーン協議会では来年1月4日(月)まで「舞鶴に来てかに当てよう!!キャンペーン」を実施中。キャンペーン対象店で受け取った応募用紙を郵送すると抽選で5人に「舞鶴かに。」、30人に「チョコキまる」グッズをプレゼント。来年1月9日(出)まで消印有効。

▶詳しくは、水産課(☎66・1020)へ。



【チョコキまる】
舞鶴かに。PRキャラクター(32ページに関連記事)

4年連続産地賞1位 全国茶品評会 褒賞授与式に出席

11月14日に静岡県で行われた「第69回全国お茶まつり静岡大会」の全国茶品評会褒賞授与式で舞鶴茶生産組合と舞鶴市が表彰されました。大会当日は同組合員と多々見市長が出席。かぶせ茶の部上位入賞と産地賞4年連続受賞をかみしめました。

今回の受賞は、今年8月に行われた同品評会かぶせ茶の部で全国から102点が出品された中、舞鶴から3人が上位入賞。これにより舞鶴市が産地賞1位を受賞したものです。

《全国茶品評会かぶせ茶の部の結果》

- ◇産地賞1位…舞鶴市
- ◇農林水産省生産局長賞2位…植和田英子氏
- ◇日本茶業中央会長賞3位…河田勝臣氏
- ◇全国茶生産団体連合会会長賞4位…瀧本浩文氏



表彰を受ける河田組合長と多々見市長



《かぶせ茶》茶葉摘み取り前の2週間程度に、茶園に覆いをかぶせて日光を遮ることにより、旨味を増し、渋味を抑えて育てたお茶。かぶせ茶の部で産地賞4年連続の受賞は三重県四日市市の5年連続に続く快挙。

男女共同参画社会の実現に向けて まいてフェスタ

11月8日、中総合会館で「まいてフェスタ」が開催され、子どもから高齢者までたくさんの人が集まりました。今年で12回目を迎える同フェスタは「輝く」をテーマに男女共同参画社会を目指し、NPO法人まいづるネットワークの会を中心とした実行委員会が実施したものです。



はまなす食堂で健康食を試食



まいづるクリーンキャンペーン実行委員会の環境クイズ



にぎわう模擬店コーナー



手作り雑貨を販売

当日は、料理や手芸などが催され、はまなす食堂で健康食を試食した上條さん(公文名)は「優しい味にしてある。野菜がいっぱい入っていても、子ども達は自分から食べてくれました。美味しいです」と話していました。

※まいて…中舞鶴地区の方言で、遊び仲間に入れてもらうときに使う。

ふるさと舞鶴めぐりブランド 落花生の収穫を体験

落花生の収穫体験と古民家でのランチツアーが11月7日に行われました。加佐地域農業農村活性化センターが田舎の魅力を発信するため実施したもので、この日は、市内在住の主婦や親子など18人が参加しました。

参加者たちは、生産者からの指導を受けた後、油江地区の畑で落花生を収穫。午後からは加佐地域大庄屋上野家で地元で採れた野菜などを使った昼食を味わいました。



収穫を楽しむ参加者たち



採れたての落花生



塩炒りも体験